



2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年3月13日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7805 URL https://printnet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田原 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 赤江 地衣 (TEL) 03-3217-5355
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の業績 (2019年11月1日～2020年1月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	2,259	14.6	38	△36.0	41	△33.4	23	△41.8
2019年10月期第1四半期	1,971	—	59	—	61	—	39	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	4.24	—
2019年10月期第1四半期	7.27	7.23

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第1四半期	7,540	3,260	43.2
2019年10月期	7,749	3,266	42.2

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 3,260百万円 2019年10月期 3,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	—	—	—	—
2020年10月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年10月期の業績予想 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,575	12.1	14	△77.0	17	△73.4	12	△66.4	2.21
通期	9,132	12.8	45	—	51	—	44	—	8.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期1Q	5,460,400株	2019年10月期	5,460,400株
② 期末自己株式数	2020年10月期1Q	52,200株	2019年10月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年10月期1Q	5,446,441株	2019年10月期1Q	5,460,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(企業結合等関係)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しております。一方、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましては、印刷用紙の不足は解消したものの、用紙価格は高止まりしており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は供給能力増強・効率的な経営資源の配分のため、2019年11月1日付で株式会社新晃社が運営していたインターネット通販サイト「ネットDEコム/ネットデコム」事業を取得しております。また、サービス、受注サイト、顧客対応について、お客様目線での改善を続けてまいりました。さらに将来に向かった売上増加に繋げるべく、認知度向上を図るため、WEB広告を中心に広告宣伝活動を積極的に行いました。

なお、当第1四半期会計期間末時点で稼働しているオフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計12台となっております。

当第1四半期累計期間において、印刷売上高は2,243,941千円（前年同期比19.0%増）（パートナー企業への印刷売上高は881,566千円、パートナー企業以外の会員の印刷売上高は1,362,374円）となりました。また、新規会員数は8,874社（前年同期比163.3%増）（予想における通期累計新規会員数に対する進捗率30.6%）であり、パートナー企業以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの平均売上高は8,960円（前年同期比0.4%増）となっております。なお、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における単価は3,148円（前年同期比80.0%減）となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,259,150千円（前年同期比14.6%増）、営業利益は38,247千円（前年同期比36.0%減）、経常利益は41,088千円（前年同期比33.4%減）、四半期純利益は23,106千円（前年同期比41.8%減）となりました。

なお、当社の事業は単一セグメント（インターネットによる印刷物等の通信販売事業、以下「ネット印刷通信販売事業」という。）であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ269,633千円減少し、2,703,585千円となりました。その主な要因は、その他（未収消費税）が182,337千円、現金及び預金が130,090千円減少したこと等によるものです。

当第1四半期会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ60,793千円増加し、4,837,109千円となりました。その主な要因は、無形固定資産（のれん）が114,000千円増加した一方、建物が5,681千円、機械及び装置が78,180千円それぞれ減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ208,840千円減少し、7,540,694千円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ15,019千円増加し、2,071,327千円となりました。その主な要因は、その他（設備未払金）が296,668千円減少した一方、買掛金が238,149千円、その他（未払消費税）が36,464千円、未払法人税等が36,233千円それぞれ増加したこと等によるものです。

当第1四半期会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ217,767千円減少し、2,208,883千円となりました。その主な要因は、長期借入金が238,206千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ202,747千円減少し、4,280,210千円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ6,092千円減少し、3,260,484千円となりました。その要因は、四半期純利益23,106千円を計上したものの、自己株式の取得により29,198千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は43.2%となり、前事業年度末に比べ1.0ポイント増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月13日公表した業績予想については、2019年12月13日の「2019年10月期 決算短信」で公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更ございません。

2020年10月期の第1四半期累計期間においては、下記の表のとおり、売上高が当初の計画より約107百万円上振れたこと等により、営業利益で約23百万円増加いたしました。しかしながら、下記2つの要因を考慮いたしまして、第2四半期会計期間及び通期の業績予想については据え置くことといたしました。

1点目として、印刷用紙の仕入価格の変化は、当社の業績に大きく影響を及ぼしますが、昨年夏の仕入単価をピークとして、仕入価格は徐々に値下げ傾向にあるものの、ペースとしては当社の当初の想定よりも遅くなっており、今後もその状況が続く可能性があります。

2点目として、現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響が当社売上高に及んでいることは不確実なものの、第2四半期以降にその影響が当社の売上高に及ぶ可能性があります。

上記2点の業績に与える影響の合理的な算定が可能となり、重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示いたします。

①第1四半期会計期間の実績と業績計画との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第1四半期会計期間実績	2,259	38	41	23
第1四半期会計期間計画	2,152	15	17	11
増減額	107	23	24	12

②第2四半期会計期間以降の業績計画

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期会計期間	2,422	△0	0	0
第3四半期会計期間	2,225	2	4	2
第4四半期会計期間	2,331	28	29	30
2020年10月期 通期	9,132	45	51	44

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,089,910	959,820
受取手形及び売掛金	756,231	645,430
製品	8,034	6,709
仕掛品	27,835	24,459
原材料及び貯蔵品	432,135	538,725
未収還付法人税等	156,959	156,959
その他	505,488	374,367
貸倒引当金	△3,374	△2,887
流動資産合計	2,973,219	2,703,585
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,193,517	1,187,836
機械及び装置（純額）	2,408,849	2,330,669
土地	657,150	657,150
その他（純額）	280,498	288,755
有形固定資産合計	4,540,015	4,464,411
無形固定資産	12,381	124,368
投資その他の資産		
投資その他の資産	234,934	260,075
貸倒引当金	△11,015	△11,746
投資その他の資産合計	223,918	248,329
固定資産合計	4,776,315	4,837,109
資産合計	7,749,535	7,540,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	418,825	656,975
1年内返済予定の長期借入金	952,824	952,824
未払法人税等	—	36,233
賞与引当金	12,340	30,852
その他	672,317	394,442
流動負債合計	2,056,307	2,071,327
固定負債		
長期借入金	2,077,529	1,839,323
ポイント引当金	85,947	102,828
退職給付引当金	65,287	69,136
役員退職慰労引当金	197,712	197,421
その他	174	174
固定負債合計	2,426,650	2,208,883
負債合計	4,482,958	4,280,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	795,722	795,722
利益剰余金	1,655,132	1,678,238
自己株式	—	△29,198
株主資本合計	3,266,576	3,260,484
純資産合計	3,266,576	3,260,484
負債純資産合計	7,749,535	7,540,694

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2018年11月1日 至 2019年1月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2019年11月1日 至 2020年1月31日）
売上高	1,971,299	2,259,150
売上原価	1,502,830	1,761,230
売上総利益	468,469	497,919
販売費及び一般管理費	408,666	459,671
営業利益	59,802	38,247
営業外収益		
受取賃貸料	1,714	3,160
還付加算金	—	1,476
その他	1,320	531
営業外収益合計	3,034	5,168
営業外費用		
支払利息	1,139	1,324
賃貸費用	—	708
その他	—	294
営業外費用合計	1,139	2,327
経常利益	61,698	41,088
特別利益		
固定資産売却益	7,315	2,949
特別利益合計	7,315	2,949
税引前四半期純利益	69,014	44,037
法人税、住民税及び事業税	35,121	36,687
法人税等調整額	△5,818	△15,756
法人税等合計	29,303	20,931
四半期純利益	39,710	23,106

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、従来、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物以外の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、定率法を採用していましたが、当第1四半期会計期間より、定額法に変更しております。

これは、当社の今後の有形固定資産の使用につき、既存設備の取替や更新を中心とした投資を計画しており、有形固定資産の平準的な操業による安定的な稼働が見込まれるため、設備の使用実態をより適切に反映させることができると判断したためであります。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益が、52,194千円増加しております。

（企業結合等関係）

取得による企業結合

当社は、2019年10月11日の取締役会において、株式会社新晃社が運営するインターネットによる印刷通販サイト「ネットDEコム/ネットデコム」事業を譲り受けることについて決議し、同社と事業譲受契約を締結いたしました。その後、2019年11月1日に事業の譲受が完了しております。

1. 企業結合の概要

（1）相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称 株式会社新晃社

取得した事業の内容 株式会社新晃社が運営する「ネットDEコム」事業

（2）企業結合を行った主な理由

当社はインターネットによる印刷物の通信販売事業を行っております。この度譲受けた印刷通販サイト「ネットDEコム/ネットデコム」事業は、当社との親和性も高く、また当社サイトの既存のお客様及び認知度を引き継ぐことにより売上の増加を期待できるものと判断いたしました。

（3）企業結合日

2019年11月1日

（4）企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 四半期累計期間に係る四半期損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2019年11月1日から2020年1月31日まで

3. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 120,000千円

取得原価 120,000千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

該当事項はありません。

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

（1）発生したのれんの金額

120,000千円

（2）発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力により発生したものです。

（3）償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

6. 事業譲受日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

固定資産 120,000千円

資産合計 120,000千円

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2018年11月1日 至 2019年1月31日）

当社は、ネット印刷通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2019年11月1日 至 2020年1月31日）

当社は、ネット印刷通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。